

14 **フリー  
ウォーキング  
コース**

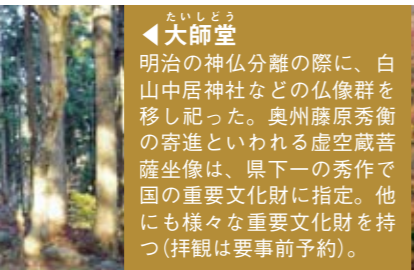
いとしろ  
**石徹白 フリーウォーキングエリア**

白鳥町石徹白エリアは福井県との県境、名峰、白山の山麓に位置する集落。白山への登山口があり、古くから白山信仰の拠点であったことから独特の歴史文化を色濃く残している。また雄大な自然が手つかずのまま残っており、国指定特別天然記念物である石徹白大杉をはじめとする巨木や、豪快な滝などを楽しむこともできる。

集落内を自由に散策したいところだが、白山中居神社から石徹白大杉までは距離もあるので、体力・時間と相談して車で移動することも選択肢に入れておこう。



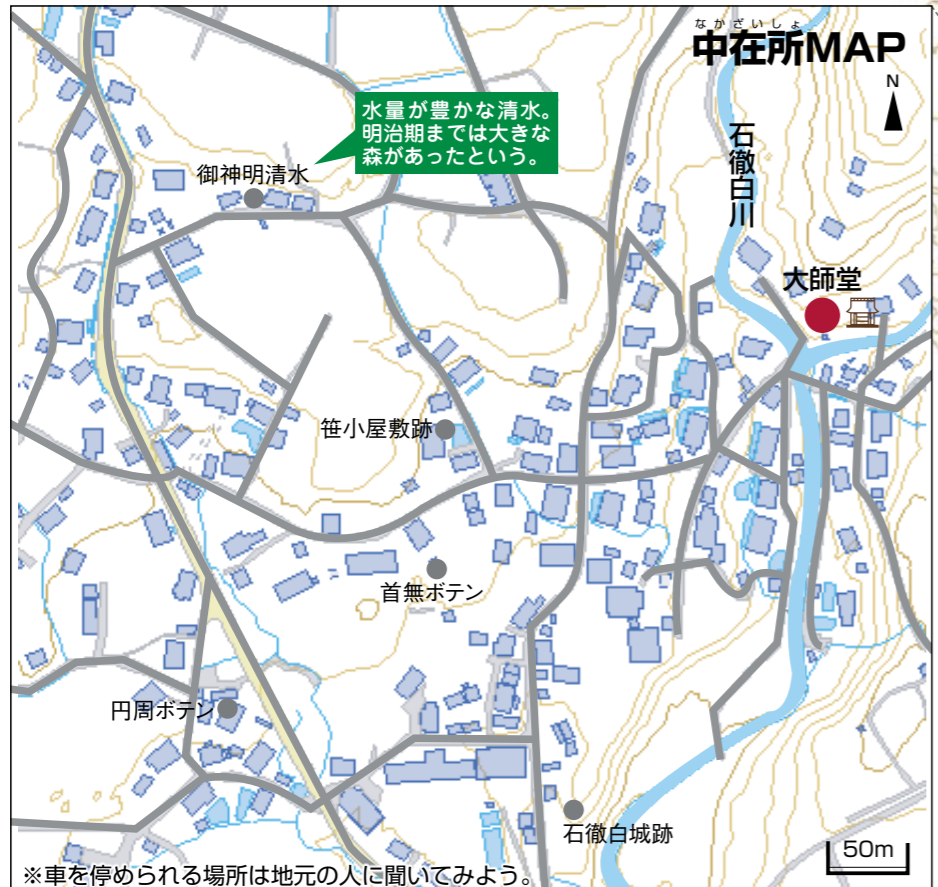
**▶石徹白清住家**  
御師の典型的な建造物として、国登録有形文化財に指定。屋敷内には「ゴシンゼン(ご神前)の間」、「ミタマサマ(御魂様)の間」といった神を祀る場がある。



**▲大師堂**  
明治の神仏分離の際に、白山中居神社などの仏像群を移し祀った。奥州藤原秀衡の寄進といわれる虚空蔵菩薩坐像は、県下一の秀作で国の重要文化財に指定。他にも様々な重要文化財を持つ(拝観は要事前予約)。

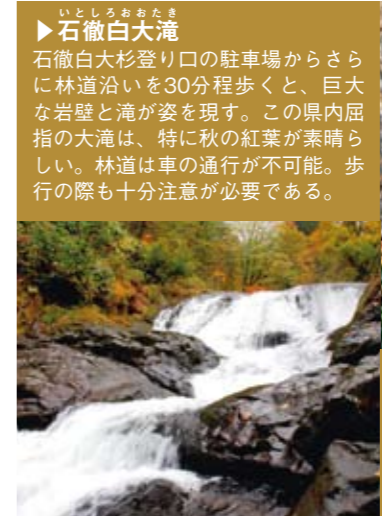


**▲紅葉エリア**  
石徹白川上流は郡上でも屈指の紅葉エリア。秋には見渡す限りの風景が赤や黄色に染まる。ただし林道は険しいので、車の運転には注意が必要。ここは奥山だということをしっかり認識したい。



**▲和田小池**  
中居神社から徒歩で2時間以上かかる場所で静かに水をたたえる湖。天気良ければ爽やかな高原だが、雨が降りそうな時や晩秋の頃はすさまじくも寂しげ。その風情がなぜか見る者の心を捉えて離さない。

**【このコースを  
より楽しむために】**  
「フリーウォーキングエリア」と銘打ったこのコースは、好奇心の赴くままに探索するのにふさわしい場所。いくつかの見どころはピックアップしてみたが、あくまでこれは一例。「自分が歩いた道がコースである」という気分で、自由に自分だけのウォーキングMAPを描こう。



**▶石徹白大滝**  
石徹白大杉登り口の駐車場からさらに林道沿いを30分程歩くと、巨大な岩壁と滝が姿を現す。この県内屈指の大滝は、特に秋の紅葉が素晴らしい。林道は車の通行が不可能。歩行の際も十分注意が必要である。



**◀長走の滝**  
白山中居神社創建の由来ともなった上流の滝。中居神社から林道と歩道を徒歩30分程度。滝へ下る歩道、特に階段は傾いているので、スリッパに注意。あまり知られていないが、美しい滝である。



**▶白山中居神社**  
春季例祭で奉納される「五段の神楽」は重要無形民俗文化財。境内には大木が林立しており、白山信仰の歴史と重みを感じられる。



**◀浄安杉**  
白山中居神社の裏山にそびえる杉の巨樹。その姿はまさに王者の風格。歩道が整備されているので、ぜひ訪ねてみたい。



**▲石徹白大杉**  
推定樹齢1800年。林道から急な階段を約15分登ったところに立つ、国内屈指の巨樹。周りが切り開かれているので小さく錯覚してしまいが、向き合っていると長い年月を風雪に耐えてきた風格を感じる。



**▲八反滝**  
規模、スケールともに県内屈指の大滝。谷の入口に看板や駐車場も整備されているが、徒歩で行くには約60分かかかる。白鳥町前谷地区の名瀑「阿弥陀ヶ滝」の女性的な雰囲気とは逆に、こちらは男性的で勇壮な趣。